

令和元年度

城南中学校区

「こころネットワーク」会議 だより

「一人ひとりを大切にし、
鍛え、伸ばす教育実践を通して」
生徒も職員もわくわくと登校し
笑顔で下校する学校
令和元年8月27日
文責：城南中学校 教頭

令和元年7月24日(水)、万年青会館にて、各学校の代表の方々、地域の諸団体の方々をお招きして、本年度の「こころネットワーク」会議を行いました。

第1部ではそれぞれの学校などから現状の報告、第2部では川尻校区防犯協会長様からお話をいただきました。



【第1部】 現状について

城南中学校区内の小学校、中学校、そして熊本農業高校の方から現状についてお話いただきました。内容を簡潔にご紹介します。*川尻交番からもご出席の予定でしたが、急な要件のためご欠席でした。

○ 熊本市立城南小学校

- ・ 立ち乗り2輪車で公道を走っている児童がいる。
- ・ スマートフォンなどを深夜まで使用して、だるそうにして登校する児童がいる。学校としては9:00までの使用としている。

○ 熊本市立川尻小学校

- ・ 校訓は「自主・礼儀・奉仕」合言葉の「あいさつ・花・きれい」のもと、挨拶運動、緑化運動、無言掃除などに取り組んでいる。
- ・ SNSのトラブルは今のところないが、個人情報などをネット上にあげないように指導している。
- ・ 登下校時や地域でのマナーについて指導している。

○ 熊本県立熊本農業高等学校

- ・ 寮生が37名。電車通学生が多いので、子どもや年配の方に道を譲るようにするなど指導している。
- ・ 自転車のマナー(一旦停止)で南署から指導をしていただいた。
- ・ 問題行動は今のところない。「挨拶ができる生徒」を目指している。
- ・ SNSについて、県教委作成のアプリでいじめについての情報を伝えることができるようになっている。

○ 熊本市立城南中学校

- ・ 学校を休みがちな生徒にはスクールカウンセラーや外部機関とも連携している。
- ・ いじめについては少しでも生徒が苦痛を感じた場合はいじめとして取り上げ、対応をしている。
- ・ SNSにより、生徒は広範囲の学生や大人とつながることができるようになっているので、注意していく必要がある。何かお気づきの点があれば学校へご連絡ください。
- ・ 男女交際について関心がある年頃だが、そのマナーについては注意が必要である。

【第2部】講話 『地域で守る子どもの安全』

講師：川尻校区防犯協会会長

1. 子どもを狙った犯罪が多い。

5月の川崎市での事件や2001年の大阪大学附属池田小学校での事件
今でも心を痛めている人がいる。

2. 犯罪の機会論

犯罪者の多くは人の目を恐れる。自分の住んでいる町で犯行を起こさず、別の町で犯罪を起こすことが多い。→パトロールの重要性

3. 地域で守る子どもの安全

パトロールの姿を見せ、声掛けをすることで、子どもには安心感、犯罪者には犯行抑止効果がある。
→何もないうちにパトロールをすることが大切

4. パトロールへの参加を

川尻校区で「青パト」を購入したので、皆さんにも活用してほしい。
パトロール中は車の窓開けて、声や音がよく聞こえるようにしている。

5. 城南中学校区での問題（最初に話をされました）

- ・ゴミ出しのマナーが良くない人がいる。
- ・防犯ブザーは小学1年生しか持っていないようであるが、ほかの学年の子どもも持った方が良い。
- ・川尻駅でのマナーが良くないということでパトロールでも見ている。夜のパトロール中に、高校生から「お世話になります」「おつかれさまです」などの挨拶をしてもらうことがあり、うれしく感じる。

この後、参加者で小グループに分かれての座談会を行い、地域の課題や危険箇所等についての意見交換を行いました。10分程度と時間が短かったのですが、どのグループも活発な話し合いができました。その後のアンケートも含めると次のような意見が出されました。

- ・地域の方からの挨拶に対して、子どもたちが挨拶を返してくれてうれしい。
- ・子どもだけでの釣りは危険
- ・スマホをしながらの自転車運転や歩行をよく見かけます。
- ・SNSなどにどう対応したらよいのだろうか？
- ・地域の状況を知ることができてよかった。
- ・いつもパトロールをしていただいて、大変ありがたい。
などの意見が出されました。

お話にもありましたとおり、大人の目が子どもを犯罪から守ります。何もないうちこそ子どもたちに目を配り、子どもたちが健やかに育っていくようにみんなで協力していきましょう。

また、最近問題にもなっているスマホやSNSとの付き合い方については、私たち大人の方もよく考えていかなければなりませんね。